

透析看護認定看護師

久慈病院 人工透析室 看護師

向山 いつか さん

Q 資格を取得しようと思ったきっかけを教えてください

維持血液透析を受ける患者さんと関わる中で、透析を受け入れられていない、自分の疾患や血液透析を十分に理解ができていない患者さんがいる事に気が付きました。透析療法は、腎機能の一部を代替する治療法のため日常生活での制限があり、患者さんが主体的に治療に取り組む必要があります。患者さん自身が納得して治療を受けられるようサポートをしていきたいと思い、資格取得を目指しました。

Q 資格取得までの流れを教えてください

医療局の認定看護師教育専門課程派遣への応募、審査を受けて内定を頂きました。その後、認定看護師教育過程を受験し、6カ月間教育課程で学びました。入学試験に向けては、透析看護認定看護師の先輩からアドバイスを頂いて、透析看護の基礎知識の見直しやガイドラインを読むなどの準備をしました。

Q 研修中の様子を教えてください

一番印象に残っているのは、1月の病院実習に向けた、12月の事例検討のグループワークです。ほぼ1カ月かけて看護過程をグループワークで行いました。繰り返される担当教員からの「アセスメントの根拠は？」との問いかけにグループの全員が何が正しいのか分からなくなる日々でした。今、振り返ると、苦しくも充実した時間であり、その後の臨地実習を乗り越える力にもなったと思います。そして、同じ目的を持った仲間との出会いが一番の収穫です。

Q 資格取得後の院内での活動状況を教えてください

普段は透析室で業務をしています。週4時間の認定看護師としての活動時間では、透析室や病棟での勉強会の準備や実施、患者カンファレンスの企画・開催に関わっています。昨年度からは、泌尿器科外来で透析導入が近くなった保存期の患者さんへの腎代替療法の説明や、シャント造設した患者さんへの自己管理指導を行っています。

Q これから資格取得を目指す方へアドバイスをお願いします

透析看護認定看護師を目指す声を出してから、院内・院外のたくさんの人とつながり、支援を頂くことができました。資格を取得して看護をしていきたいという目標がある人は、ぜひ声を出して欲しいと思います。道が開ける可能性が各段にアップすると思います。

Q その他、皆さんに伝えたいことがあればお願いします

透析看護認定看護師は、2020年末現在で全国238名の少数の分野です。岩手県内に3名、その内医療局には2名在籍しております。認定資格の取得や、それ以外でも、腎不全看護に興味のある方は、ぜひ声をかけてください！

